

- 一 伝僖公二十五年の次の記事を解釈せよ。小字注は杜預注、正義、釋文である。なお、解釈は伝のみでよい。

秦伯師_二于河上_一、將_レ納_レ王_一。勤_レ納_レ王也。狐偃言_二於晉侯_一曰、
求_二諸侯_一、莫_レ如_二勤王_一。諸侯信_レ之、且大義也。繼_二文之業_一、
繼文之業〇正義曰、言、欲_レ繼_二文侯之功業_一、而使_内信義宣_レ布於諸侯_甲、今日納_レ王、
是爲_レ可矣、而信宣_二於諸侯_一、今爲_レ可矣。晉文侯仇爲_二平王侯伯_一、匡_二輔
周室_一。〇仇音求。

※ 伝僖公二十七年(テキスト三七頁)「於_レ是乎、出定_二襄王_一」の杜注に
二十五年、定_二襄王_一、以示_二事_レ君之義_一。
とある。

- 二 次のうちのいずれかを選び、論述せよ。

A 経僖公二十有八年春の

公子買戍衛。不卒戍。刺之。楚人救衛。(テキスト三四頁)
について、伝、及び杜注を用いて解説せよ。

B 伝僖公二十八年の

楚子入居于申。使申叔去穀、使子玉去宋。(テキスト四〇頁)
について、その状況、事情を説明せよ。